専修大学
スカラシップ・全国入学試験(2/2)
経済学部，法学部，経営学部，
商学部，文学部，人間科学部，
国際コミュニケーション学部
ネットワーク情報学部

ク11

2025（令和７）年度入学試験問題

国　　語

1．試験開始の合図があるまで，この問題冊子の中を見てはいけません。

2．試験時間は60分です。

3．この問題の本文は全部で18ページ（問題一・二）です。

全国入学試験においてネットワーク情報学部では，問題一のみを採点の対象とします。

問題二は解答しなくても結構です。

なお，同一日に他の学部を受験する方，およびスカラシップ入学試験を受験する方はすべてを解答してください。

4．試験中に問題冊子の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は，手を挙げて監督者に知らせてください。

5．解答は，設問に従って，該当する解答欄にマークしてください。なお，すべてマーク解答問題です。解答にあたっては，必ず黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。

6．解答用紙に記入するときには，下記の点に注意してください。

(1) 氏名・受験番号を所定欄に記入し，該当するマーク欄を正確にマークすること。
（機械処理上，非常に重要なので誤記のないよう注意してください。）

(2) 訂正する場合は，プラスチック消しゴムで完全に消してから改めて書き直すこと。

(3) 指定した解答欄以外および枠外の空白部分には何も書かないこと。

(4) 解答用紙は，折り曲げたり汚したりしないこと。

(5) 解答用紙の解答欄をマークするときは，次の（例）のようにマーク解答欄の番号をぬりつぶすこと。

（例）　③と解答する場合

マーク解答欄									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⓪

7．問題冊子の余白等は適宜利用してかまいません。

8．試験終了後，問題冊子は持ち帰ってください。

ク11

問題一（現代文）

全員が解答してください。

ク11

問題一　次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

※問題文については著作権の関係により掲載できません。

ク11

※問題文については著作権の関係により掲載できません。

※問題文については著作権の関係により掲載できません。

ク11

※問題文については著作権の関係により掲載できません。

（隈研吾「日本の建築」による。ただし設問の都合上、一部を改変した）

問一　傍線部W「悶々」の「悶」の字の訓読みとして正しいものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 1 にマークしなさい。

① わずらう　② もがく　③ もだえる　④ あがく　⑤ あえぐ

問二　傍線部X「ラクルイ」を漢字で書き表すとき、「ルイ」の字と組み合わせて二字の熟語となるものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 2 にマークしなさい。

① 血　② 係　③ 本　④ 同　⑤ 異

問三　傍線部Y「本居宣長」とあるが、『本居宣長』という本を書いたのは誰か。次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 3 にマークしなさい。

① 和辻哲郎　② 小林秀雄　③ 唐木順三　④ 亀井勝一郎　⑤ 江藤淳

ク11

問四　傍線部Z「奨励」の対義語としてもっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 4 にマークしなさい。

① 防御　② 命令　③ 勉励　④ 抑制　⑤ 防止

問五　空欄 A と D に入る語句の組み合わせとしてもっとも適当なものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄 5 にマークしなさい。

① A 断片　D 神秘
② A 断片　D 極致
③ A 先鋭　D 奇跡
④ A 先鋭　D 神秘
⑤ A 暴力　D 極致
⑥ A 暴力　D 奇跡

問六　傍線部B「そのフォルマリズムを超えるために」とあるが、タウトにとっての「フォルマリズム」の説明としてもっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 6 にマークしなさい。

① 建築のフォルムだけを際立たせるコルビュジエのフォルマリズムは、建築が場所の上に突出して見える切断主義的なモダニズムであった

② ミースが地面から切断された目立つ形態を作ったサヴォア邸は、モダニズム的なフォルマリズムの建築として批判の対象であった

③ あらゆるモダニズムは、場所と建築とをつなぎ合わせるという最も重要なことをおろそかにしたフォルマリズムであった

④ コルビュジエやミースの切れ味のいい切断主義的なフォルマリズムは、二〇世紀初頭の工業化社会の時代に迎合するものであった

⑤ 場所から切り離された建築の形態を際立たせるフォルマリズムは、場所と建築とをつなぎ合わせることによって克服されるべきものであった

問七　空欄 C に入る語句としてもっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 7 にマークしなさい。

① 自然そのものの息吹を感じさせるような美しい生垣

② 自然と人間との関係を象徴するような記号的で抽象的な生垣

③ 自然と人工との間に宙づりにされたような特殊な生垣

④ 人為的なものを感じさせない素朴で自然な生垣

⑤ 熟練の職人の手で編み上げられた精緻な生垣

ク11

問八　傍線部E「「関係」のような曖昧で複雑なものを理解する情熱を、二〇世紀初頭の工業化社会は有していなかった」とあるが、その理由としてもっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄** 8 **にマークしなさい。**

① 二〇世紀初頭の工業化社会における商品は、自然と人間との関係を完全に切り離した切断主義的な商品ばかりだったから

② 商品を大量に生産し大量に販売して、経済をまわしていく工業化社会が必要としていたのは、わかりやすくシンプルな形態を有する商品であったから

③ 二〇世紀初頭の工業化社会は、商品を大量に生産し大量に販売して、経済をまわしていく功利主義的な社会であったから

④ 二〇世紀初頭の工業化社会は、他のものとの関係から切り離されたわかりやすくシンプルな形態をもたせた商品の大量生産・大量販売を目指したから

⑤ わかりやすくシンプルな形態を有する商品のデザインを得意としたコルビュジエやミースが、工業主義的時代の寵児となったから

ク11

問九　傍線部F「被害者意識と選民意識とが複雑に入り混じりあったアマルガム（融合物）は、日本人の心の風景であり続けた」とあるが、その説明としてもっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 9 にマークしなさい。

① 日光東照宮に代表される悪趣味でキッチュな武家文化と、桂離宮に代表される良質でモダンな宮廷文化は、複雑に融合して日本人の精神の中に常に生き続けてきた

② タウト以来、日本の伝統文化の中に二つの対極的なものを見出そうという試みが、絶えることなく続けられてきた

③ 日本人は、大陸の影響に徹底的に従属させられたという被害者意識と、大陸の影響をきっぱりとはねつけたという選民意識とが入り混じりあった複雑な精神を、常にもち続けた

④ 日本人は、「漢意」と「もののあはれ」という二項対立型日本論を、太古の時代からそのまま変わらずもち続けてきた

⑤ 日本人は、中心の影響に翻弄され続ける辺境に位置したという意識をもってきたが、同時に翻弄されつつもしなやかであり不変であったという意識ももってきた

ク11

問一〇　後のア～ケのうち本文の内容に合致するものの組み合わせを次の①～⑦の中から一つ選び、解答欄 10 にマークしなさい。

① アカ　② アウキ　③ イク　④ エキ　⑤ オクケ　⑥ カケ　⑦ クケ

ア　桂離宮の建設者は、庶民階級に対して自己のもつ高い文化標準の模範を示そうとする意図をいだいていなかった

イ　京都大学建築学科の基礎を築いた、東京大学出身の武田五一は、奈良の古い寺社建築を重視した

ウ　タウトは、儒教の教えを「漢意」として批判し、「もののあはれ」を日本固有の情緒であるとして称えた本居宣長を読んで、強い影響を受けた

エ　桂離宮にも、古いヨーロッパに見られるような階級的距離が認められる

オ　工学教育の中心地として創立された東京大学の建築学科においては、「もののあはれ」の日本的美学が重視された

カ　桂離宮や京都御所には、華美に走った威圧的な外国の宮殿とは全く異なった様式が見られる

キ　タウトによれば、日本建築の良質でモダンな部分は武家の文化と結びついており、悪趣味でキッチュな部分は宮廷文化と結びついている

ク　数寄の美学を完成させた千利休は、書院造の日本建築に自分の美学を見出した

ケ　桂離宮のような日本の簡素な建築においては、庭園との関係性が豊かさを生み出している

問題二（古文）

全国入学試験においてネットワーク情報学部のみを受験する方は採点の対象にならないので，解答しなくても結構です。

ネットワーク情報学部以外の学部を受験する方，ネットワーク情報学部と他学部を併願している方，およびスカラシップ入学試験を受験する方は解答してください。

ク11

問題二　次の文章は、「源氏物語」に描かれなかった「源氏の君」と「前坊の御息所」との出会いの場面を本居宣長が創作したものである。これを読み、後の設問に答えなさい。

内(注1)にも、故宮(注2)の御ことを忘れさせ給はず、あはれにおぼしめし出でつつ、折々の御とぶらひ、絶えずぞありける。源氏の君にも、「前坊の御息所のあはれになが め給ふらむを、折々はとぶらひものせよかし」など、のたまひつけしかば、「げに、心にくく、よしある人」と、先々も聞き置き給ひし辺りのことなれば、かつはA<u>ゆかしくおぼされて</u>、一日、内裏よりまかで給ふとて、夕つけ(a)<u>てお</u>はしけり。

ほど遠ければ、暮れ果ててぞおはし着きぬる。御門のもとに御車たてさせて、御随身入れて、案内せさせ給ふほど、少しさし出でて、見入れ給へば、木立いと物古りて、木暗く見え渡り、けはひしめやかに、心にくく思ひやられ給ふに、そのこととも聞きわかれぬほどの物の音、松風に響きあひて、たえだえ聞こえくるも、あはれになまめかしく、なみなみならぬ爪音と聞きなし給ふにも、御心ときめきして、何事も世に名高くものし給へば、「違ふべくもあらぬ御息所の御琴の音」と、御耳とどめて、聞きおはします。うちには、にはかなるほどの御とぶらひに、人々「そそや」と慌てつつ、ささめき騒ぐほどに、御琴は弾きさし給ひつ。B<u>「なかなかなるほどを」</u>と、君は口惜しう(b)<u>おぼす</u>。随身出でぬれば、御車より降り給ひて、いたう心げさうしつつ、ひきつくろひうちふるまひて、歩み入り給ふ御さま、(c)<u>似る</u>ものなくめでたく、あてになまめかしう、にほひ満ちたるに、いとかがやかしうはづかしくて、とみに出で来る人もなければ、階のもとにたたずみて、うちながめおはさうず。いと［X］して、中将の君といふ出できて、「思ひ給へかけぬほどの御とぶらひにて、何事もいと［Y］、かたじけなきわざになむ」とて、御しとね差し出づるさまなど、いたう慣れたり。

「いでや、先々も参り侍りて御有様も承らまほしうは思ひ給へたちながら、よろづ思ひ給へつつみてなむ心ざしのほどをも、今までえ御覧ぜさせ侍らざりし。上(注3)も常に故宮の御事をのみ、明け暮れ忘れさせ給はず、この御有様の心苦しうあはれなることとのたまひ出でつつ、姫宮のいかにうつくしう生ひ出で給ひぬらむなど、御心ざし浅からぬさま」など、大方の御とぶらひ、いとこま

ク11

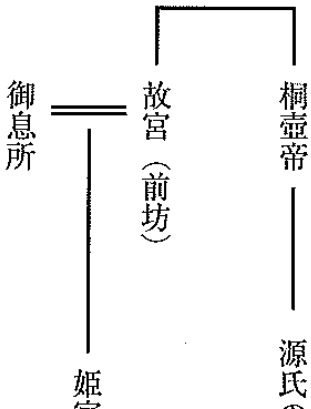
やかにて、「かく参り初め(d)侍りぬれば、また、のどかにを」とて、その夜はすくよかにて(エ)出で給ひぬ。(C)かくふりはへ渡らせ給ふ御心ざしを、いかがは浅くおぼしめされむ。

（「手枕」による）

（注1）内……源氏の君の父である桐壺帝

（注2）故宮……桐壺帝の弟。東宮であったが即位せずに亡くなった。「前坊」と同一人物

（注3）上……桐壺帝のこと



ク11

問一　傍線部A「ゆかしくおぼされて」の解釈としてもっとも適当なものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 11 にマークしなさい。

① 煩わしいことだとお感じになって
② 心引かれることだとお思いになって
③ 奥ゆかしい方だとお感じになって
④ なつかしいとお思いになって

問二　二重傍線部(a)～(d)の動詞の活用の種類の組み合わせとしてもっとも適当なものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄 12 にマークしなさい。

	(a)	(b)	(c)	(d)
①	サ行変格活用	サ行変格活用	ナ行変格活用	ラ行四段活用
②	サ行四段活用	サ行四段活用	ナ行変格活用	ラ行四段活用
③	サ行変格活用	サ行四段活用	ナ行上一段活用	ラ行変格活用
④	サ行四段活用	サ行変格活用	ナ行上一段活用	ラ行四段活用
⑤	サ行変格活用	サ行変格活用	ナ行上一段活用	ラ行変格活用
⑥	サ行四段活用	サ行四段活用	ナ行変格活用	ラ行変格活用

ク11

問三　波線部ア～エの主体の組み合わせとしてもっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 13 にマークしなさい。

① ア　源氏の君　　イ　御息所　　ウ　帝　　エ　帝
② ア　御息所　　イ　源氏の君　　ウ　源氏の君　　エ　源氏の君
③ ア　源氏の君　　イ　源氏の君　　ウ　源氏の君　　エ　御息所
④ ア　御息所　　イ　中将の君　　ウ　御息所　　エ　源氏の君
⑤ ア　源氏の君　　イ　帝　　ウ　御息所　　エ　御息所

問四　傍線部B「なかなかなるほどを」の心情としてもっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 14 にマークしなさい。

① 源氏の君は、琴の演奏が途中で終わってしまったことを残念に思った
② 源氏の君は、琴の演奏を妨害してしまったことを申し訳ないと思った
③ 中将の君は、琴の演奏を源氏の君に聞かれてしまったことを恥ずかしいと思った
④ 源氏の君は、琴の演奏が上手にできるようになった姫宮の成長ぶりをうれしく思った
⑤ 中将の君は、琴の演奏で出迎えた御息所の心づかいを、すばらしいと思った

問五　空欄 X ・ Y に入る語の組み合わせとしてもっとも適当なものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 15 にマークしなさい。

X　Y

① はづかしく ―― うらめしく
② ゆくりかに ―― あからさまに
③ やにはに ―― いたづらに
④ ひさしく ―― かたはらいたく

問六　傍線部C「かくふりはへ渡らせ給ふ御心ざしを、いかがは浅くおぼしめされむ」の解釈としてもっとも適当なものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 16 にマークしなさい。

① わざわざ訪ねてくださった源氏の君のお気持ちに、帝が深い感銘を受けないということがあろうか
② わざわざ源氏の君を差し向けてくださった帝のお気持ちに、姫宮が深い感銘を受けないということがあろうか
③ わざわざ訪ねてくださった源氏の君のお気持ちに、御息所が深い感銘を受けないということがあろうか
④ わざわざ訪ねてくださった源氏の君のお気持ちに、姫宮が深い感銘を受けないということがあろうか

ク11

問七　本文の内容と合致するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 17 にマークしなさい。

① 源氏の君は、帝の代理として御息所に会いに行くことを自ら提案した
② 御息所は、源氏の君に会うことを恥ずかしく思ったので、姿を現さなかった
③ 中将の君は、前触れもなく訪問してきた源氏の君に対してわざと失礼な態度をとった
④ 源氏の君は、御息所の住むもの寂しげな屋敷の様子に心ひかれる思いがした
⑤ 御息所は、宮中に参上し始めた頃のような穏やかな生活を送りたいと望んだ

問八　本居宣長の著作を次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 18 にマークしなさい。

① 雨月物語　② 日本永代蔵　③ 国性爺合戦　④ 花月草紙　⑤ 玉勝間